

# 情報活用能力の育成のための年間指導計画表（中学校及び義務教育学校後期課程）

観点	項目	1年生	2年生	3年生
A 知識 及び 技能	インターネット	引用するサイトの信頼性を見極め、他のサイトの情報と比較して判断することができる。	インターネットの適切な検索方法を知る。（絞り込み・特定キーワードの除外等）	アンケート機能の使い方を知る。
	起動、終了、パスワード	クラウドにデータ整理して保存する。	クラウドにデータ整理して保存する。	クラウドにデータ整理して保存する。
	ファイル	ファイルやフォルダを操作することができる。	ファイルをカテゴリー別にフォルダ整理し効率よく管理できる。	ファイル検索を活用して必要な情報を探し出すことができる。
	キーボード	タイピング入力がスムーズに行うことができる。	ショートカットキー等を利用して、情報を効率よく入力できる。	ホームポジションを知る。
	文字入力	1分間に70文字程度打つことができる。	1分間に90文字程度打つことができる。	1分間に110文字程度打つことができる。
	写真・動画・録音	撮影の目的を理解し、撮影した写真を管理することができる。	簡単な動画編集ができる。	複数の動画を組み合わせたりBGM等を入れたりしながら工夫した動画編集ができる。
	学習支援ソフト	学習支援ソフトの応用操作ができる。	必要に応じて自ら学習支援ソフトを活用することができる。	様々な学習支援ソフトを目的に応じて活用することができる。
	スライド作成	スライドレイアウトを選択し、意図した場所に自由に配置したスライドを作成することができる。	文字の大きさや配列を工夫して効果的なスライドを作成することができる。	BGMや動画を組み込んだ効果的なスライドを作成することができる。
	その他	目的や情報の種類に応じてアプリケーションを選択・活用することができる。	目的や情報の種類に応じてアプリケーションを選択・活用することができる。	目的や情報の種類に応じてアプリケーションを選択・活用することができる。
B 思考力、 判断力、 表現力	プレゼンテーション	情報を統合して論理だてて考え、新聞やプレゼンテーションソフトにまとめて伝える。	聞き手とのやり取りも含めて効果的にプレゼンテーションをすることができる。	目的に応じてプレゼン・Webページ・SNS・プログラミング等を用いて発信することができる。
	図解する	表やグラフから変化や傾向を読み取り、整理して新たな意味を見出す。	表やグラフから変化や傾向から考察し、問題解決の見通しを立てる。	表やグラフから変化や傾向から考察し、多様な解決策を明らかにする。
	取捨選択	課題を多面的に調べ、目的や意図に応じて情報整理し選択する。	情報メディアの特性も踏まえて効果的に情報検索し、目的や状況に応じて選択する。	目的に応じたメディアを選択し、調査や実験も組み合わせながら情報を選択する。
	学習計画	グループの意見をまとめ、計画を作成することができる。	収集した情報から課題をみつけ、解決に向けた情報活用の見通しを立てる。	問題を焦点化し、ゴールを明確にし、問題解決のための情報活用の計画を立てる。
	インタビュー	相手が答えやすいよう質問の順番等を工夫することができる。	相手が答えやすいように受け答えしながら質問できる。	回答者の考えをより引き出す質問を投げかけることができる。
	メモ	書き方（場所や矢印・強調など）に工夫することができる。	ToDoリストなどを使って、自分の行動を調整できるように書く。	書いたメモを見直したときに自分の行動を調整できるように書く。
	グループディスカッション	相手の立場等を理解し、話し方や伝え方を理解して話すことができる。	相手にわかりやすく伝え、相手と議論することができる。	グループディスカッションを通じて相互の理解を深めることができる。
	読み取り	目的に応じて情報の傾向と変化を見つけることができる。	目的に応じて情報収集の手段を選択することができる。	複数情報から矛盾点や欠けている情報を見つけられる。
C 学び 人間性 等 に 向 か う 力	情報収集の姿勢	情報を複数の視点からとらえようとする	新たな視点を入れて検討しようとする	物事を批判的に考察しようとする
	多様な情報収集の利点の理解	情報の有用性を理解し、適切に活用することができる。	得た情報を批判的に考察し、情報を活用することができる。	できるだけ多くの事実や根拠に基づき、客観的に分析判断することができる。
	情報活用の自己調整	情報活用を振り返り、観点を決めて評価し、改善することができる。	情報を構造的に理解し、情報技術を創造しようとしている。	情報を自己調整し効果的に活用することができる。
	情報活用の態度	個人情報ネットワーク上に書かないようにしている。	著作権や肖像権を理解して情報を発信する。	情報活用を振り返り、改善点を見出すことができる。
D テ ィ 情 報 モ ラ ル に つ い て の 理 解 セ キ ユ リ	端末の取り扱いのルールとマナー	SNSなどの使用について内容が適切か考え、自分の責任や義務を踏まえ行動する。	SNSなどの使用について内容が適切か考え、自分の責任や義務を踏まえ行動する。	SNSなどの使用について内容が適切か考え、自分の責任や義務を踏まえ行動する。
		ルールやマナーを創造・遵守し、問題を解決しようとする。	ルールやマナーを創造・遵守し、問題を解決しようとする。	ルールやマナーを創造・遵守し、問題を解決しようとする。
	個人情報	自他の情報を相手や範囲を考えて管理することができる。	自他の情報を相手や範囲を考えて管理することができる。	自他の情報を相手や範囲を考えて管理することができる。
	危険性の理解	メディアの情報には発信者の意図が含まれていることを分かった上で利用する。	メディアの情報には発信者の意図が含まれていることを分かった上で利用する。	メディアの情報には発信者の意図が含まれていることを分かった上で利用する。
	相談	ネットトラブルが起きた場合、大人に相談する。	ネットトラブルが起きた場合、大人に相談する。	ネットトラブルが起きた場合、大人に相談する。
	法と権利	情報の保護や取扱いに関する法律を理解している。	情報の保護や取扱いに関する法律を理解している。	情報の保護や取扱いに関する法律を理解している。
E 育 成 的 思 考 の ミ ニ モ ム	プログラミングの有用性の理解	プログラミング学習教材を使い、双方向のプログラムを作成する。	プログラムの作成を行い、評価、改善ができる。	情報技術の価値を社会や将来に関連づけることができる。
	問題解決の手順	課題解決の流れを踏まえた計画を立てることができる。	アクティビティ図等を用いてモデル化することができる。	問題解決に向けて論理的な手続きやデータを様々な工夫することができる。
	試行錯誤	情報の活用を効率化の視点から評価し改善しようとする。	どのように改善すればより良い活動に近づくのかを論理的に考えることができる。	条件を切り分け、解決方法を論理的に考えて取り組むことができる。